

当院の健診で脂肪肝を指摘された受診者への M2BPGi 測定と他の線維化指標との比較

◎東 里江子¹⁾、喜多 伸介¹⁾、高原 真洋¹⁾、古里 未結¹⁾、矢野 裕絵¹⁾、坂東 雅彦¹⁾
医療法人伯鳳会 大阪中央病院¹⁾

【はじめに】M2BPGi は肝線維化の進展に伴い血中濃度が特異的に増加する。我々は今回、健診受診者でかつ腹部エコー検査にて脂肪肝と所見に記載されている受診者を対象として M2BPGi を測定した。脂肪肝と M2BPGi の測定値を比較し、また、肝線維化の進展度合いを評価するためのスコアリングシステムである FIB-4index(以下 FIB-4)と NAFLD fibrosis score(以下 NFS)を算出し、M2BPGi との関連性について検討したので報告する。

【方法】(1)装置：HISCL-800(シスメックス株式会社)(2)試薬：HISCL-M2BPGi 試薬(同上)(3)対象：2022 年 8 月～2023 年 2 月の期間で当院健康管理センターの受診者(男女合計 160 名)で、腹部エコー検査の所見に「脂肪肝」と記載がある方を対象とした。

【結果】M2BPGi 測定値の平均は男性 0.56、女性 0.71、全体で 0.63 となった。陽性率は男性 3.7%、女性 16.5%、全体では 10.0%であった。FIB-4、NFS それぞれの陽性率は FIB-4 で男性 16.0%、女性 8.9%、全体 12.5%、NFS で男性 1.2%、女性 0.0%、全体 0.6%となった。M2BPGi 陽性でか

つ FIB-4、NFS それぞれが陽性であった例の陽性一致率を算出した。結果は FIB-4 陽性例で男性 0.0%、女性 7.7%、全体 6.3%となった。FIB-4、NFS において M2BPGi との相関係数を算出すると、FIB-4 で相関係数 $r=0.054$ 、NFS では $r=0.057$ となった。

【考察】M2BPGi は、男性より女性の方が陽性率は高く、女性では特に肝臓に何らかの疾患が認められた方で陽性となる例が散見された。また、FIB-4 と NFS を M2BPGi と比較した結果、M2BPGi と FIB-4 では M2BPGi の女性陽性率が FIB-4 より高くなり、男性群では、60 歳以上で M2BPGi 陰性・FIB-4 陽性となる結果が目立った。

【まとめ】M2BPGi は脂肪肝という条件下において女性での陽性率が高いことがわかった。また M2BPGi と 2 つのスコアリングシステムとの間には相関性がみられなかった。以上より、n 数を増やして多くのデータを集積し、M2BPGi が陽性と判定された受診者の今後の動態を追っていくなどさらなる検討が必要であると考え。連絡先：06-4795-5505(代表)